

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ヨシケンコーポレーション	代表者	代表取締役 河本 英樹
事業所名	小規模多機能ホーム いしい	管理者	石丸 悟

法人・事業所の 特徴	グループホームいしい・デイサービスいしい 小規模多機能ホームいしい・住宅型有料老人ホームいしい <u>法人理念</u> :「3つの心」初心を忘れない・素直な心・思いやりの心 <u>小規模多機能ホームいしい理念</u> : なじみの生活をいつまでも。共に出来ることを支えあい歩みます。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	1人	1人	1人	2人	2人	3人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			常勤職員が何人居てどのような取組みを行っているかが分からない状態で「外部評価地域関わりシート①」を渡されても答えようがない。	次回のサービス評価時には、事前に現在の職員配置人員および現在取り組んでいることを分かりやすくお伝えした上で、「外部評価地域関わりシート①」の記入をお願いするようにします。
B. 事業所のしつらえ・環境			最初は事業所にどのようにして入ったら良いのか分からなかった。 インターホンを押して職員が出てくるまで入れない状態がある。	地域の皆様に事前に案内した上で、定期的に行事を開催しお越し頂くことで入りやすい雰囲気を作ります。 また、平成28年4月までに入口に分かりやすい看板等を設置するようにします。
C. 事業所と地域のかかわり			一部の職員だけでなく、全職員が地域との関わりをもって気軽に挨拶が出来る関係作りをして欲しい。職員が誰か分からない。 事業所に入るのはイベント(行事)がある時のみで自主的には入りにくい。	運営推進会議においても平成27年12月より、毎回異なる職員が参加させていただくことで皆様に覚えて頂くようにします。 同時に地域の行事にも参加させて頂き、職員から挨拶をさせて頂くように心掛けます。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			北井門地区以外の登録者の方に対する地域の方を交えた会議をどのように開催していくのか？が課題である。	平成28年1月より、ご利用者様のサービス担当者会議に当該地区の民生委員の方に参加して頂くようお願いするようになります。
E. 運営推進会議を活かした取組み			基本的には地域の方の相談については包括支援センターにしている。事業所が近いから相談しても良いのならするが、個人情報も全て話すことになるが構わないのか？	基本的には、相談があった時には統括施設長、管理者またはケアマネージャーが相談受付を担当します。不在の場合には他の職員が当該担当職員に連絡を取るようになります。 まず、小規模多機能型居宅介護事業所がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取組みを行っているのかをご説明していくようにいたします。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所で何をしていて、どういう所で、いつ何をするのか？の周知が足りない。チラシ等を有効活用し、もっと早くに（事前に）案内をしてほしい。 自主防災訓練については、今年防災士が1名から3名に増えたので実施を検討している。そこに日程の調整がつくようであれば参加してもらえば良い。	平成28年3月の防災訓練の実施より、事前に案内をすると同時に防災計画についてもお配りし、どのような計画を立てて実施しているかをご理解いただけるようになります。 町内会での自主防災訓練の案内があった際には、日程を調整した上で出来る限り参加出来るように努めます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 21 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	4	0	13
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	1	7	4	1	13
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	1	10	1	0	13
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	2	5	6	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用前にはカンファレンスを実施し、情報を共有している (掲示板活用)
 利用開始から 1 週間は 24 時間シートを使用し気分の流れや本人様のペースを掴み、関わりを密としている。毎日のカンファレンスで話し合った事を皆で協力して取り組んでいる。利用者のやりたい事好きな物を探って実現出来るよう努力している。利用開始は安心して頂けるよう寄り添う事に心掛けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 必要とされている事が何なのかはっきりしないまま支援している。必要とされている事が何なのか積極的に求めれていない。利用開始前、伝達程度のみミーティングしか行えていない。
 家族の方と話す機会を増やさなければならない。家族との連携がとれていない。
 カンファレンス、本人の情報、ニーズが把握できていない。情報の不足、情報を見ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 新しいフェイスシートの様式を介護支援専門員中心に作成し、生活記録ファイルにはさんで、いつでも閲覧でき把握できるようにする。利用者様おひとり、おひとりに、ひもときシートを活用して新しい情報を職員が記入して、情報共有・更新が出来るように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 22 日 (08:40 ~09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	3	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	8	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	7	2	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	2	3	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各利用者の生活記録のファイルにライフサポートプランが挟まれており確認することができる。ケアプランに目を通し本人様との会話などから「したいこと」の手助けとなるように心がけている。ミーティング等で話し合った内容は振り返りを行い決まった事は実践を行っている。
本人様の気持ちを汲み取りたいので極力会話を通して聞くようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人様の目標を理解し目標に向かった関わりが出来ていない。本人様に対する目標が話し合えておらず共有が出来ていない為。
ずっと同じ「〇〇したい」で次の段階には進めていない。一人一人のケアプランについて話し合う (振り返る) 時間が持てていない為。
業務に追われ日々の関わりが疎かになっている。
利用者全員のゴールが把握できていない、知らない。ライフサポートプランの内容、存在が分かっていない。
認識不足の為。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ケアプランに沿った、新しいモニタリング様式を作成し個々の ～したい・目標が分かり、利用者様担当職員・介護支援専門員と月末評価を継続していく。その方に応じた支援に対して「できているか」「できていないか」と○・×で明確に分かる月表も作成し、月末評価と一緒に定期的にミーティングをとうして振り返り情報の共有に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 23 日 (8 : 40 ~ 9 : 10)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00~19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	0 人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	8	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	5	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	2	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	3	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の観察で（血圧・体温・熱等）体調の変化に気づいた時は、主治医への連絡、相談や必要に応じて受診を行いその都度、申し送りを行っている。気持ちの変化は、毎朝のカンファレンスや職員会のミーティングをとうして、利用者様の言動・場面等を情報共有し支援に努めている。情報共有に関しては、朝礼や申し送りノートを活用して努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方については、本人の認知機能の低下や家族様との関わりが少ない部分があり情報収集ができていない方もいる。把握している情報も個々により知ろうとする意識や経験年数によって違いがある。利用者様の情報がどこにあるかわからない。情報をみてもここによって、取り方が違う事もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
新しいフェイスシートの様式を介護支援専門員中心に作成し、生活記録ファイルにはさんで、いつでも閲覧でき把握できるようにする。利用者様おひとり、おひとりに、ひもときシートを活用して新しい情報を職員が記入して、情報共有・更新が出来るように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 22 日 (08:40~09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	9	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	6	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	8	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	7	5	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ホームでの行事には、地域の方も参加して頂けるよう連絡している。家族様へは来所時に最近の様子を伝えるようにしている。地域の方に会ったら、自分から挨拶するようにしている。地域での行事（盆踊り、運動会、バザー）には、毎回参加している。利用者様の馴染みの店に継続して行くことが出来るよう支援ができています。連絡ノートや送迎の際に、お聞きし把握するようにしている。本人様から何か訴えがあった場合は、職員と相談し、家族様へ伝えている。会話の中で今までされていたこと、好きなこと、家族様の話しを出し、昔されていたことを楽しんで話してもらっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域と利用者様の交流の機会がほとんど持っていない。通いの方がその地域の行事に参加できる支援が出来ていない。利用者様全員のことは理解できていない。情報が取れない時もある。また、記録に無い場合もあり、把握できていない。民生委員、地域資源を把握できていない。ライフサポートプランには目を通しては見るだけでは理解できない。鍵をかけられている人に対しては、どのように過ごされているか把握できていない。本人様が帰宅されている間は、関与していないことが多い為、どのような生活をされているか把握できない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
その方に応じて、各担当中心に各地域の行事を調べていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 26 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	1	6	3	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	3	6	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	6	4	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	2	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当日に予定が変わっても、本人や家族のニーズに話し合いをもって応じられている。
他職種との資源（福祉用具、訪問看護、往診、訪問リハ等）を幅広く利用しながら柔軟な支援が来ている。
毎日のカンファレンスを実施し、職員間の意思を共有し支援に活かしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
通い、訪問、宿泊の偏りがある。
地域資源をほとんど使えていない（地域資源というものを知らない）。
変化に気づいても口頭の伝達のみで皆で共有が出来ていない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ケアプランに沿った、新しいモニタリング様式を作成し個々の～したい・目標が分かり、利用者様担当職員・介護支援専門員と月末評価を継続していく。その方に応じた支援に対して「できているか」「できていないか」と○・×で明確に分かる月表も作成し、月末評価と一緒に定期的にミーティングをとうして振り返り、現サービスが適切に提供しているか評価に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 28 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

6. 連携・協働

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	1	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	2	8	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	1	3	4	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	3	3	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域でのバザー・運動会・盆踊り・祭り等の開催時は、参加させて頂いている。事業所の行事事の際、案内をおこない事業所の方に来ていただければというように努めている。その他のサービス機関との会議は、その都度必要性（環境の整備・身体面の変化等）に応じて話し合いをおこなっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>サービス機関との会議は、一部の職員のみでの参加で全職員は、業務を離れられない等に関わる事ができていない。地域の方が気軽に立ち寄る事ができていない。立ち寄る目的がなかったり、入りづらい事も影響している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>認知症カフェの定期的な開催や行事事がある時は、事前にチラシの案内・お声かけをさせて頂き日頃から事業所に来ていただけるように努めていく。外玄関にお知らせ看板を用意し、入りやすい環境作りに努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 30 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

7. 運営

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	2	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	4	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	4	3	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・家族・地域・介護者からの意見や苦情をご意見シートで詳細を記入し事業所のあり方・対応を朝のカンファレンスを行い、1 人ずつ意見を出し合うことができ改善点を話しあう事ができている。又ご意見受付箱も玄関においており意見が伝えられやすいように工夫を設けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域と積極的に地域と協働した取組みが行えていない。どのように、すすめて行ったらいいかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
3 か月に 1 回、広報誌と一緒に意見・要望の用紙を家族様へ郵送・配布を行い事業所に来て頂いた時に意見 BOX へ入れて頂くようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 30 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	5	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	6	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	10	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	3	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月第 4 木曜日に内部研修を実施している。外部の研修の情報を掲示板に掲示・申し送りノートへの記載個々に声かけを行い、周知に努め職員の希望を聞き参加出来るよう努めている。リスクマネジメントでは、ヒヤリ・ハット・事故報告書で詳細・対策を話し合い情報共有に努めている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修会等、参加したい気持ちがあるが、家庭の事情で参加できていない。出勤時での参加も人員の兼ね合いでできる時と出来ない時がある。地域連絡会というものがあるがどうゆうものなのかという事が理解できていなく参加が出来ていない。 リスクマネジメントでは、バインダーに 3 日間掲示している勤務体制上閲覧ができていない職員には個人レターボックスへ入れて全員が閲覧でき確認日を記入して情報共有の周知に努めているが、1 度閲覧すると完結してしまい、対策の修正があった時の周知が出来ていない事がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員会時 1 ヶ月間のヒヤリ・ハット・事故報告書を報告し、対策ができているか、周知できているか再確認をおこなっていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 2 日 (08:40～09:00)
平成 27 年 10 月 8 日 (19:00～19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	7	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	2	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	8	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束は行ってはいけないと職員間で意識して行っていない。 適宜、身体拘束ゼロ・虐待防止の勉強会を行っている。 個人情報は持ち出していない。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>健康状態や精神状態によっては、拘束になってしまう場合がある。 成年後見人制度は詳しく分からない。 管理者およびケアマネに任せているために馴染みがない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>成年後見人制度についての勉強会を行い理解する。</p>	